

東住吉区みんなの

災害福祉講演会

災害時も支え合える地域づくりをめざして

自然災害が多発する日本においては誰もが“被災者”となるおそれがあります。被災者に寄り添い、普段からともに支え合う心と活動に目を向けていきましょう

令和6年10月31日(木)

午後2時30分～4時30分

会場 東住吉区民ホール(東住吉区役所3階) 東住吉区東田辺1-13-4



講師紹介

1994年、社会福祉法人全国社会福祉協議会(全社協)に入職。2005年以降、災害支援担当として災害発生時に先遣として現地入りし、地元の社会福祉協議会や関係団体等と連携し、その後の支援の要否確認を行う役割を担う。また、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議による支援者派遣の調整や、災害支援を担う職員の育成、多様な団体による災害支援のネットワーク形成に携わる。2021年に全社協を退職し、「オフィス園崎」を設立。全国各地の防災・減災活動の支援や被災地での支援活動に貢献している。

第1部

基調講演

「共感と支え合いの
災害福祉活動に向けて」

講師

オフィス園崎 代表

園崎 秀治氏

第2部

取組み報告とディスカッション

区内で防災・減災活動や被災地支援活動に取り組む団体からの報告と講師を交えた意見交換を行います。

登壇者

NPO法人ちゅうぶ 事務局長
グループホーム リオ管理者

石田 義典氏

障がいがある人の支援機関として、自立生活センターや生活介護(日中活動)グループホーム等の運営や介護派遣サービスを実施。阪神淡路大震災以降、被災地での障がい者支援や、自施設においても定期的に避難宿泊体験を行っている。

大阪城南女子短期大学
専任講師

長橋 幸恵氏

高齢者介護の専門分野で教鞭をとりながら、学生とともに東日本大震災の被災地を定期的に訪れ、現地の福祉施設等で働く対人援助職への聞き取り調査を行い、学生の防災教育や地域・施設の防災・減災活動につなげている。

大阪市東住吉区社会福祉協議会
包括支援担当係長

濱辺 隆之氏

地域包括支援センターの社会福祉士として勤務。能登半島地震発災後、災害ボランティアセンターの運営支援として石川県志賀町に応援派遣。高齢者等の避難行動要支援者の見守り活動や地域の防災訓練にも関わる。

定員

300名(要申込)

申込期間

9月10日(火)～10月25日(金)

申込方法

電話・FAX・窓口・QRコードのいずれかでお申込みください。



その他

会場内で防災用品の展示 来場者に防災グッズをプレゼントします

主催 社会福祉法人大阪市東住吉区社会福祉協議会

住所 大阪市東住吉区田辺2-10-18さわやかセンター内 連絡先 電話06-6622-6611 FAX06-6622-8973